



平成 27 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社RS Technologies
代表者名 代表取締役社長 方 永 義
コード番号 3445 東証マザーズ
問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 正行
電 話 03-5709-7685

第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 3 月 24 日に公表しました平成 27 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）の業績予想を下記の通り修正することと致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間 連結業績予想の修正

平成 27 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間 連結業績予想の修正
（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,496	百万円 314	百万円 283	百万円 80	円 銭 15.14
今回発表予想（B）	2,475	608	582	235	44.45
増減額（B－A）	▲21	294	299	155	
増減率（%）	▲0.8	93.6	105.7	193.8	

2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は概ね計画通りで推移いたしました。一方、利益につきましては業績予想を上回る見込みとなりました。

その要因は主に以下の点によるものであります。

三本木工場および台湾子会社工場の新設・移設による稼働開始を当初、三本木工場は 3 月、台湾工場は 6 月としておりましたが、補助金確定検査の手続きの遅れなどにより、三本木工場は 6 月稼働開始、台湾子会社工場は 9 月稼働予定となりました。

しかしながら、売上高につきましては、既存の工場を効率的に代替稼働していることと、為替の円安効果などにより大きな影響は発生しておらず、売上高は概ね計画通りを見込んでおります。

営業利益につきましては、売上原価では、生産性の向上を進めたこと、当第2四半期連結累計期間に計画しておりました減価償却費、外注費などの製造経費が発生しなかったことにより売上原価を削減することができました。

販売費及び一般管理費は、運賃及び荷造費などのコスト削減を図りました。

上記のことから、前回予想を約 294 百万円上回る見通しです。

経常利益は、営業利益が前回予想を上回ったことを主な要因として、為替差益などの営業外収益、株式公開費用などの営業外費用などにより前回予想を約 299 百万円上回る見通しです。

四半期純利益につきましては、経常利益が増加する見通しであることと、工場の稼働開始の遅れなどによる設備移転費用の増加を見込むものの、前回予想を約 155 百万円上回る見通しとなりました。

また、通期の連結業績予想につきましては、台湾工場稼働時期の遅れにより、新設・移設に係る立ち上げ費用、製造稼働費用などの売上原価、販管費の総額が未確定のため、業績予想を据え置くことといたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上